

中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会
容器包装の3R推進に関する小委員会(第11回)

**容器包装の3R推進のための自主行動計画
2009年:実績報告**

3R推進団体連絡会

ガラスびんリサイクル促進協議会
PETボトルリサイクル推進協議会
紙製容器包装リサイクル推進協議会
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
スチール缶リサイクル協会
アルミ缶リサイクル協会
飲料用紙容器リサイクル協議会
段ボールリサイクル協議会

自主行動計画フォローアップ報告内容

I. 事業者による3R推進の2009年度実績概要

- リデュース : 多くの容器で着実にリデュースが進んでいます。
- リユース : リターナブルシステムの調査研究を行いました。
- リサイクル : 全体として着実に進展しています。

II. 主体間の連携に資する取り組み

- 八団体共同の取り組みの展開
 - 独自企画の連携イベント開催: フォーラム、セミナー、3Rリーダー交流会
 - 各種展示会への共同出展
 - ACジャパン(旧:公共広告機構)で容器包装のリサイクルをPR
- 共通テーマ(普及啓発と調査研究)に基づく各団体の取り組みの展開

I. 事業者による3R推進に向けた自主行動計画

2010年度推進目標

Reduce
リデュース

- 軽量化・薄肉化による使用量削減（数値目標）
- 適正包装の推進
- 詰め替え容器の開発

Reuse
リユース

- リターナブルシステムの調査・研究

Recycle
リサイクル

- リサイクル率・回収率・カレット利用率等の維持・向上
- つぶしやすい容器包装の開発
- 洗浄・分別排出への啓発
- 減容化機器の調査・開発
- リサイクルしづらいラベルの廃止、及び剥がしやすいラベルの工夫
- 複合材の見直し
- 自主回収の研究・拡大